

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	科学技術文章	
科目基礎情報							
科目番号	4002		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修科目: 1		
開設学科	機械システム工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		0		
教科書/教材	『知的な科学・技術文章の書き方』中島利勝・塚本真也著・コロナ社						
担当教員	網谷 厚子						
到達目標							
1 論理的思考力情報収集能力を身につける。 2 論証することについて熟達する。 3 科学技術文章のスタイルについての基礎的技術を習得する。"							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1論理的思考力を身につける。 (機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディアA-1,C-4,生物B-1.C-2)		論理の筋道についての理解を深め、短時間で情報を要約・加工し発信することができる。		論理の筋道について概ね理解し、時間をかけても情報を要約・加工し発信することができる。		論理の筋道について一部理解し、情報の要約・加工・発信について取り組む姿勢がみられる。	
評価項目2 論理的思考力を身につける。 (機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディアA-1,C-4,生物B-1.C-2)		自らの考えを最新のデータ等根拠を踏まえ、正しい日本語で独創的かつ説得力を持って表現することができる。		自らの考えをデータ等根拠を踏まえ、概ね正しい日本語で表現することができる。		自らの考えを、概ね正しい日本語で表現することができる。	
評価項目3論理的思考力を身につける。 (機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディアA-1,C-4,生物B-1.C-2)		科学技術文章の特徴的なスタイルについて知識を深め、活用することができる。		科学技術文章についての知識を深めることができる。		科学技術文章の特徴について理解することができる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		1 批評・批判・論証についての考え方を、実例・パターンに基づいて学ばせ、小論文を書かせることにより、自ら運用できる力を身につかせる。 2 科学技術文章の特色について理解させ、正しく的確に表現できる能力を、小テストで確認しながら形成的に評価し、確実に習得させる。 3 書くこと(論証すること)・話すこと(発表すること)・聴くこと(批評的に)をバランス良く配置し、主体的な学習となるようにする。"					
授業の進め方・方法		・論理的思考力・表現力の育成のための小論文作成。 ・教科書・問題集に基づいてテクニカル・ランディングの基本を習得する。 ・プレゼンテーションのPPTの作成し、プレゼンテーションの方法について習得する。					
注意点		・学生が主体的に学ぶよう指導する。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	論理的思考の方法		「論理的」となるための必要な要素を学ぶ。		
		2週	論理の進め方		実例を理解し、説得力の根拠を理解する。		
		3週	批評・批判・論証の実例 I		Open-ended課題に取り組む。		
		4週	論拠・データの集め方・説得力ある論理的文章とは		論拠・データの収集の仕方・表現について習熟する。「論理的」となるための必要な要素を学ぶ。		
		5週	科学技術文章の特徴・ルールとスタイル		科学技術文章とは何か、基礎的知識を身につける。横書きスタイルに関するルールについて学ぶ。		
		6週	形式名詞・補助動詞の表記・禁則処理、		形式名詞・補助動詞等の表現に習熟する。		
		7週	副詞・各種記号・表記のルール、プレゼンテーションの工夫		表記の様々なルール、プレゼンテーションの工夫について学ぶ。		
		8週	中間テスト		上記の学習の習熟度を評価する。		
	4thQ	9週	世紀の大発明コンクール		プロジェクトリーダーとして企画・立案、プレゼンテーションする。		
		10週	世紀の大発明コンクール		プロジェクトリーダーとして企画・立案、プレゼンテーションする。		
		11週	世紀の大発明コンクール		プロジェクトリーダーとして企画・立案、プレゼンテーションする。		
		12週	批評・批判・論証の実例 II		Open-ended課題に取り組む。		
		13週	接続詞・接文語句のルール、文末表現の工夫		効果的・明解な文章、力強い魅力的な文章を書く方法について学ぶ。		
		14週	短文・長文・図番・図表の活用法		効果的活用について基礎的知識を身につける。		
		15週	明解な文章表現法・科学技術者の守るべきルール		明解な文章へと推敲できる能力を鍛え、科学・技術者の守るべきルールを学ぶ。		
		16週					
評価割合							
	試験 70	発表 30	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	50	0	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0